参考様式第１号　危険ブロック塀等確認表

◆危険ブロック塀等の確認（ア）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 塀の種類 | 項目 | **除却前の塀：**塀の種類に応じて各項目の選択に、一つでも該当する場合**「危険ブロック塀」に該当です。** | **除却前の塀**  高さ　　　　ｍ  厚さ　　　　cm |
| 《補強コンクリートブロック造》  鉄筋有コンクリートブロック  (令第62条の8) | **Ⅰ.塀の高さ** | 道路面から2.2mを超えている。 | □該当 |
| **Ⅱ.塀の厚さ** | 厚さ10cm未満（塀の高さが2mを超える場合は15cm未満）である。 | □該当 |
| **Ⅲ.控え壁**  **※高さが1.2m超の場合** | 9㎜以上の鉄筋を配置した控え壁の間隔が3.4m以内であり、突出長さが次の計算値以上の設置がない。  計算：高さ(m)×20＝（　　　　cm） | □該当 |
| **Ⅳ.基礎** | 基礎が無い。又は、塀の高さが1.2m超の場合は根入れの深さ30cm以上、丈35cm以上の基礎がない。 | □該当 |
| **Ⅴ.鉄筋** | 9㎜以上の鉄筋を壁頂、壁端、隅角部に配置し、かつ、壁内に縦・横80cm以内の間隔で配置していない。 | □該当 |
| 《組積造》  大谷石  レンガ  鉄筋無コンクリートブロック  石　等  (令第61条) | **Ⅰ.塀の高さ** | 道路面から1.2mを超えている。 | □該当 |
| **Ⅱ.塀の厚さ** | 厚さが次の計算値未満である。  計算：高さ(m)×10＝(　　　　cm) | □該当 |
| **Ⅲ.控え壁** | 控え壁間隔が4.0m以内で、突出長さが①の計算値以上の設置がない。又は、控え壁が無い場合に塀の厚さが②の計算値未満である。  ①計算：厚さ(cm)×1.5＝(　　　　cm)  ②計算：高さ(m)×15＝(　　　　cm) | □該当 |
| **Ⅳ.基礎** | 根入れ深さが20cm以上の基礎がない。 | □該当 |

◆危険ブロック塀等の確認（イ）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 塀の種類 | 項目 | **除却前の塀：**劣化、損傷の状況を記入してください。除却の必要性があると市が認める場合**「危険ブロック塀」に該当です。** | **除却前の塀**  高さ　　　　ｍ  厚さ　　　　cm |
| 0.8m以上の塀 | **劣化・損傷** | 劣化・損傷の状況  □傾き　□亀裂　□ぐらつき　□風化・爆裂  □その他（  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |